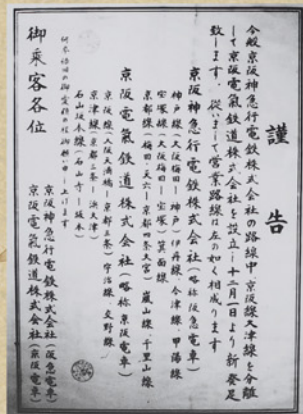




戦後の復興、 苦境を乗り越えて。

1945(昭和20)年8月15日太平洋戦争が終結し、時代は戦後復興期へ。1943年に合併した京阪電気鉄道を
1949年に分離し、神戸線、宝塚線、京都線の3線を軸に事業展開を図ることになりました。
そして、1952年に待望の三線規格統一が実現。近代化への大きな一歩を刻みました。

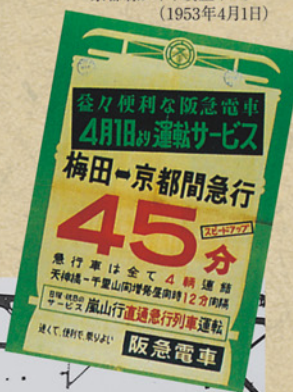


京阪電気鉄道の分離を告げるポスター
(1949年12月1日)

1949年12月1日 新たなる 「京阪神急行電鉄」誕生

1943年10月、京阪電気鉄道と
合併し、「京阪神急行電鉄」と
改称したが、1949年、京阪電
気鉄道に京阪線、大津線の鉄
道事業を営業譲渡し、新たな「京
阪神急行電鉄」が誕生しました。

京都線ダイヤ改正ポスター
(1953年4月1日)



大阪-京都(現・大宮)間にノンストップ特急運転を開始 (1956年4月16日)

1943

1943年 京阪電気鉄道株式会社と合併

1944年
梅田-阪急京都(現・大宮)間
直通急行運転開始

1945年 ポツダム宣言受諾

1949年 神戸線 特急運転再開

1949年 京阪電気鉄道株式会社分離

1950年 天神橋-京都間 特急運転再開

1952

神戸線特急運転再開ポスター
(1949年3月)



京都線特急復活ポスター
(1950年10月1日)



梅田-池田間に大型車両の運転を開始
(1952年3月16日)

1952年9月30日 三線規格統一へ

創業時の路線のままで、小型車
両しか使用できなかった宝塚線
の規格向上工事により、三線と
も規格が統一され、輸送近代化
に向けた大きな一歩となりました。



神戸線に初登場の高性能車両1000形 (1954年)



規格向上工事中の蛸池駅 (1951年)